

番号	展示箇所	資料名	時代	点数	資料の概要
1	はじめに	室木家住宅文化財指定書	1963（昭和38）年	1 枚	文化財指定を示す指定書入りの額。ダイドコロに架けられていた。
2	第 1 部	障子	2024（令和6）年	3 枚	エンガワに散乱する障子、地震の影響で破れ・破損している。
3	第 2 部	明治の館被災瓦	2024（令和6）年	12点	表門西の塀や中門で採集した瓦。刻印や蓮の意匠が施された能登瓦として重要。
4	第 2 部	船筆筒	江戸時代後期	1 点	船筆筒。北前船に積み込まれて重要な書類などを保管した。
5	第 2 部	ガラス製品	江戸時代後期～明治時代	1 0 点	舶来品のガラス製品。明治時代前期の能登と海外とのつながりを示す資料。
6	第 2 部	博愛扁額	大正時代	1 点	「博愛」と書かれた孫文の揮毫。室木弥次郎氏に贈られる。
7	第 2 部	卒業証書	1905（明治38）年	1 点	室木弥次郎氏の京都帝国大学法科大学卒業証書。
8	第 2 部	箏	明治～昭和時代	1 点	箏。近代の邦楽ブームを支えたと考えられる。